



プロジェクト名称

宇宙開発学生団体 Hoper's



プロジェクト活動概要

私たちは、「ものづくりを宇宙開発の観点から学ぶ」「豊洲という“まち”と“ひと”との架け橋になる」という二つの目的を持って活動しているプロジェクトです。具体的には、小型模擬衛星 CanSat を作製し、大会に出場する、ものづくりの活動。そして、豊洲の子供たちにもものづくりの楽しさを教えることで、豊洲の人々との関係を築いていくアウトリーチ活動を行っています

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2016年1月1日～3月31日

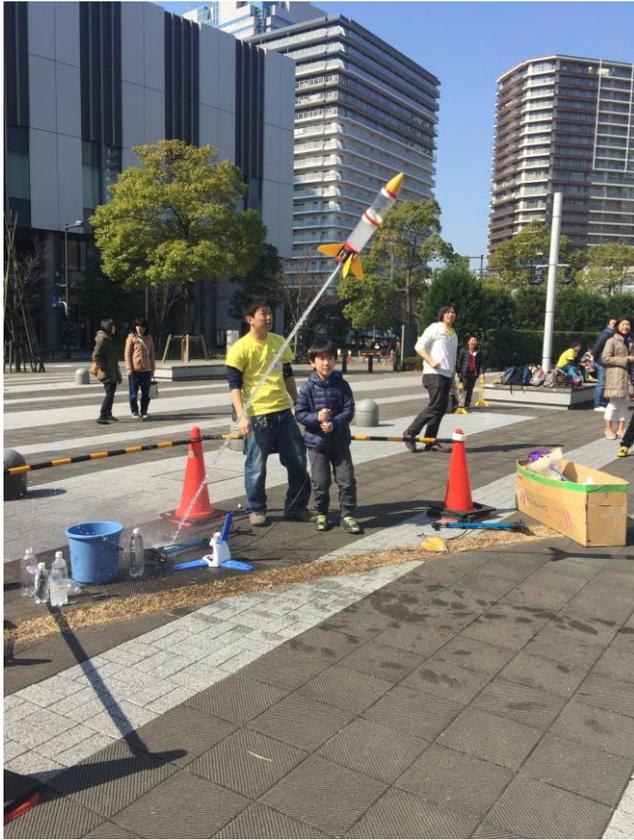
・ペットボトルロケット工作教室（アウトリーチ）2月28日

今回の工作教室では今までにない試みとして、子ども達が作製したものを発表する場所を提供しました。そこでタリーズ豊洲フロント店様、アップルストア銀座店様にご協力いただきまして、タリーズ豊洲フロント店様でお茶をしながら親子で工作の時間を楽しみ、その後アップルストア銀座店様で写真や動画の編集を行い発表を行うという、ものづくりのサイクルを擬似的に体感できるイベントを企画し開催しました。

初めての試みということもありまして参加人数は20人といつもよりも少ない人数になりましたが、当日は大盛況で終了し、子どもたちや親御さんにもお楽しみいただくことができました。

この場を借りて今回ご協力頂きましたタリーズ豊洲フロント店様、アップルストア銀座店様に今一度深く感謝いたします。またご参加して下さった参加者の方々にもお礼申し上げます。ありがとうございました。

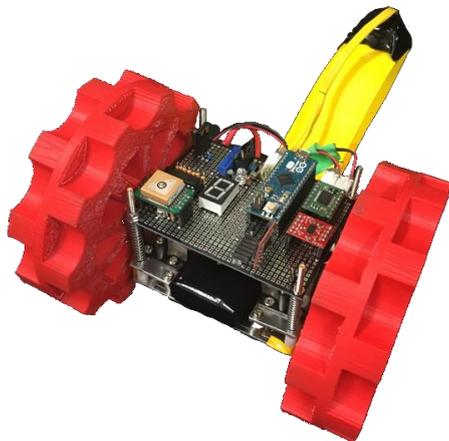




・ 種子島ロケットコンテスト 2016(CanSat 競技会) 3月2日～3月6日

3月2日～3月6日に開催 JAXA 種子島宇宙センターにおいて開催された、“種子島ロケットコンテスト”に参加しました。結果として優勝することはかなわず残念なものに終わりました。

今回私たちは、優勝を目標として安定性をコンセプトに CanSat の設計を行い、製作していきました。バネのサスペンションにより落下時の衝撃を抑える機構や、パラシュートの見直しを行い1から設計して安定した落下を目指しました。



機体本体

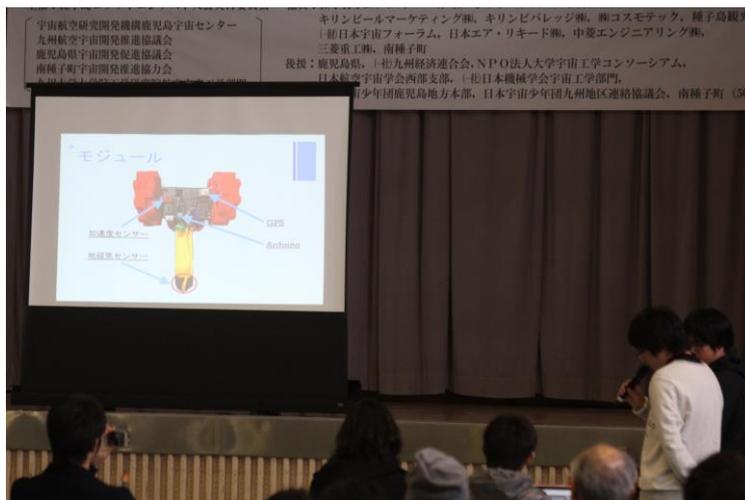


展開機構



本番ではパラシュートの紐を軽視したことにより自由落下してしまう非常に遺憾な結果となりましたが、上空 50m から落下したにも関わらず機体は大破すること無くモーターの軸が折れるだけの最小限の被害で抑えられ、サスペンションの効果が確実であることの証明になりました。

結果は残念なもので終わってしまいましたが CanSat 作製を通して技術力の向上、ものづくりサイクルの経験は確実に学ぶことができました。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

まず初めに Hoper's は今後も続いていきます。そして来年度の Hoper's は変化の年になると思われま

す。どのような活動を行うのかはまだ未定ですが、今年度ではできなかったような企画を来年度以降できるように準備を進めています。

最後に、今年度 Hoper's として活動していくにあたり、応援して下さった皆様並びに芝浦工業大学学生課の方々には感謝いたします。来年度も Hoper's の活動を応援してくだされば幸いです。